

# 2026 年度「社会共生実習」

## 募集要項／プロジェクト紹介冊子

「社会共生実習」とは、社会学部の全3学科が共同で運営する、地域連携型の実習科目です。

社会学部の所属教員が毎年多様なプロジェクトを提供しており、社会学部の学生は所属学科を問わず希望するプロジェクトに参加申し込みをすることができます。

履修の可否を判定するため、事前登録を Web 上（ポータルサイトのアンケート）にて行っていただく必要があります。受講が認められると辞退ができないため、十分検討してから事前登録を行ってください。

社会状況や実習先の都合などにより、本冊子に記載しているプロジェクトの内容が変更になることがあります、その場合でも、同等の到達目標を達成するための取り組みをプロジェクトの担当教員と実習生でつくりあげていきます。

※実習は大学や学部の行動指針にもとづき運営されます。



【2026 年度「社会共生実習」を受講するまでの流れ】※詳細は p3-4 参照

1	本日	2026 年度開講予定の「社会共生実習」プロジェクト内容が記載された紹介冊子（本冊子）を入手 (11/20 履修説明会にて配布)	
2	1/9(金) 12:30~15:00	2025 年度「社会共生実習」の活動報告会に参加する ※出入り自由、昼食持込可 会場：和顔館 1 階 スチューデントモンズ	
3	日程は裏面参照	2026 年度「社会共生実習」の個別履修相談会に参加する	
4	1/9(金) ~2/27(金)15:00 迄	事前登録（ポータルサイトのアンケート）をおこなう	
5	3 月上旬	受講可否判定結果発表を確認する ※ポータルサイトのお知らせにて発表	

社会共生実習サポートデスク (紫英館 1 階社会学部教務課内) TEL : 075-585-7672 Mail : co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

## 目次

「社会共生実習」について .....	3
■2026 年度に開講するプロジェクトの紹介 .....	3
■2026 年度「社会共生実習」 <b>履修説明会</b> の開催について .....	3
■2025 年度「社会共生実習」 <b>活動報告会</b> の開催について .....	3
■2026 年度「社会共生実習」 <b>個別履修相談会</b> の開催について .....	3
■事前登録方法 .....	3
■受講可否判定結果発表について .....	4
■その他の留意事項 .....	4
■質問・問い合わせ先 .....	4
2026 年度「社会共生実習」プロジェクト紹介 .....	5
地域エンパワねっと・大津中央 .....	6
農福連携で地域をつなぐ —「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」 .....	10
お寺の可能性を引き出そう！ —社会におけるお寺の役割を考える— .....	14
【2026 年度「社会共生実習」個別履修相談会について】 .....	20

# 「社会共生実習」について

## ■2026年度に開講するプロジェクトの紹介

2026年度「社会共生実習」では、受講したいプロジェクトを以下①～③の中から希望順にエントリーできます。各プロジェクトの概要は5ページ以降をご参照ください。

- ① 地域エンパワねっと・大津中央
- ② 農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」
- ③ お寺の可能性を引き出そう！—社会におけるお寺の役割を考える—

## ■2026年度「社会共生実習」履修説明会の開催について

来年度開講されるプロジェクトや事前登録方法についての履修説明会が、2025年11月20日（木）13:30～15:00（3限）「現場主義入門」の授業内にて対面で開催されます。会場は慧光館501講義室です。来年度、「社会共生実習」の受講を検討している方は事前登録方法をよく確認しておいてください。なお、他の授業と重複している場合は、後日ポータルサイトにてお知らせされるオンデマンド配信をご覧ください。

## ■2025年度「社会共生実習」活動報告会の開催について

今年度開講されたプロジェクトの活動報告が、2026年1月9日（金）12:30～15:00（昼休み～3限）に開催されます。参加は任意ですが、どのような活動を行うのかがよくわかりますので是非ご参加ください。会場は和顔館1階スチューデントコモンズです（出入り自由、昼食持込可）。

## ■2026年度「社会共生実習」個別履修相談会の開催について

来年度開講されるプロジェクト別の履修相談会が開催されます。担当教員等に直接相談できる機会なので、ぜひご参加ください。各開催日時と会場は本冊子裏面をご覧ください。

## ■事前登録方法

通年の履修を求めているプロジェクトについては、2024年度入学生（現2年生）は「IIA・IIB」、2023年度入学生（現3年生）は「IIIA・IIIB」というように、前後期を一括して登録します。半期開講プロジェクト・通年開講プロジェクトともに年度途中での辞退や追加は出来ません。いずれもポータルサイトのアンケート項目にある、『【重要】2026年度「社会共生実習 IIA～IIIB」事前登録について』にて、登録してください。アンケートは2026年1月9日（金）～2月27日（金）15:00までポータルサイトにアップされます。入力に時間がかかる可能性があるので、はやめの登録を心がけてください。

## ■受講可否判定結果発表について

希望するいずれかのプロジェクトの受講を認められた学生に対しては、2026年3月上旬に、受講許可された旨と履修する上で重要な連絡がポータルサイトのお知らせにて発表されます。注意して確認してください。

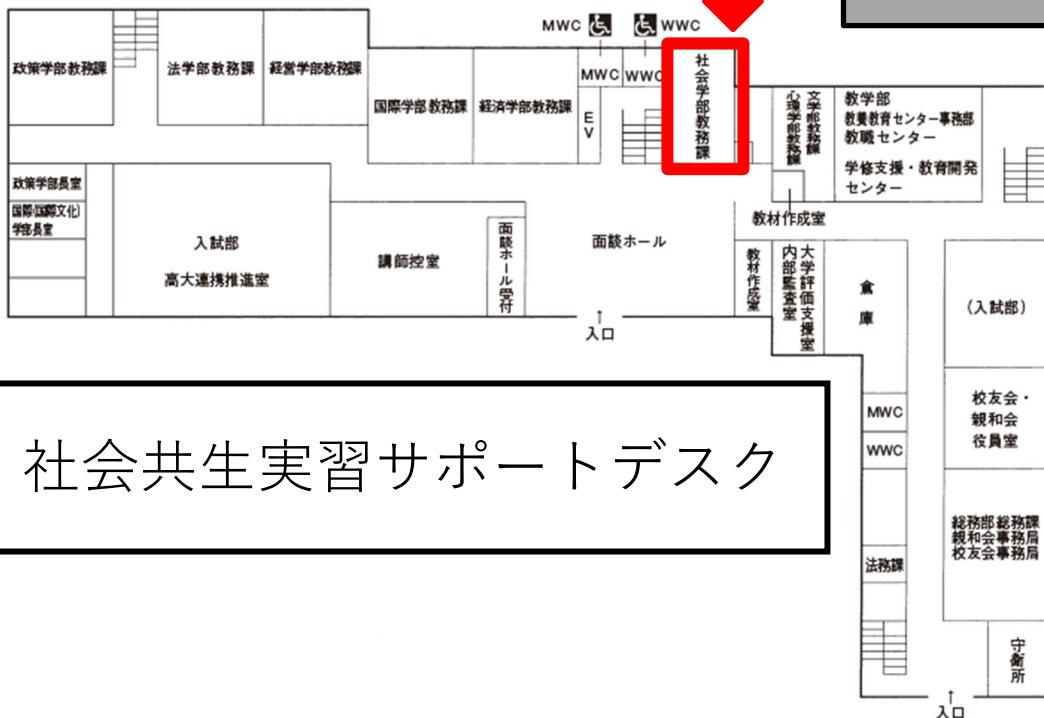
## ■その他の留意事項

- \* 本実習は、土・日・祝日及び休業期間の実習を伴うことがあります。5ページ以降の各プロジェクトの概要をよく読み、課外活動等を考慮の上、事前登録してください。
- \* プロジェクトには、募集学生数の上限、下限が設定されています。受講希望者が下限を下回った場合は不開講となることもあります、あらかじめご了承ください。
- \* 受講決定後は取り消しができないので、事前登録する前によく確認してください。

## ■質問・問い合わせ先

深草学舎 紫英館（6号館）1階 社会学部教務課内

学生用の出入口はこちら  
です。ご注意ください。



### 【連絡先】

TEL : 075-585-7672

Mail : co-ex@ad.ryukoku.ac.jp

開室時間 : 月、水～金 9:00～17:00、火 10:45～17:00

※ただし、会議や休業日で閉室している場合もあります。

開室時間を確認したい場合は事前にお問い合わせください。

# 2026 年度「社会共生実習」プロジェクト紹介



写真：2025 年度 前期・活動共有会の様子

龍谷大学社会学部  
2026年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	地域エンパワねっと・大津中央
担当者名	脇田健一
プロジェクトの概要	<p>2007年に文部科学省の「現代的教育ニーズ取り組み支援プログラム」(現代GP)に採択され、その後も、龍谷大学社会学部が独自に取り組んできた地域連携型教育プログラムです。</p> <p>地域の方々と連携しながら、流動的な地域社会の中で地域課題を「発見」し、地域課題の「解決」に取り組み、そこから生まれた成果の地域の方々との「共有」を目指します。そのような「発見」「解決」「共有」のプロセスを経験することで、状況を的確に把握し、多様な人びとの協働なかで、まちづくりに関わるさまざまな事業を企画、実践していくける力を身につけます。</p> <p>活動場所は、大津市の中央小学校区を中心とした地域。江戸時代の宿場町の風情を残す伝統的な町家とマンションなどが混在しています。歴史や伝統を持続させつつも、地域が少しずつ変化している様子が街の景観からも浮かび上がってきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>1年目前期の活動</b> 大学の地元である大津市で活動している方々（自治会、地域づくり団体、民生委員・児童委員、社会福祉協議会、子ども会、老人俱乐部、NPO、ボランティア、企業、行政等など）からお話をうかがい、活動に参加させていただきながら、地域住民の皆さんと一緒に地域の「課題を発見」します。</li> <li>・ <b>1年目後期の活動</b> 発見した「課題の解決」に向けて、チームで事業を企画し、地域の皆さんと協働しながら取り組みます。そして、その結果や成果を地域の皆さんと「共有」します。</li> <li>・ <b>2年目の活動</b> 1年目に築いた地域の皆さんとの信頼関係を基盤に、地域団体などの活動にメンバーとして参画し、地域課題の解決にさらに深く関わります。後輩への指導を通じて、学びのさらなる定着を目指します。</li> </ul> <p><b>身につく力</b> 丁寧に実習に取り組むことで、コーディネート力、インタビュー</p>

	スキル、調査スキル、企画力、企画書作成力、広報力、プレゼンテーション力等が身につきます。	
募集学生数	上限 10名、下限 2名	
活動場所	「大津市中央学区」を中心とした大津市を中心市街地。学区の自治連合会、各種団体と連携して活動します。	
到達目標と成績評価方法	1年目前期	1年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	〔到達目標〕地域課題を発見する。 〔成績評価方法〕 ①平常点（60%） 全体授業や地域活動、チーム活動への主体的参加度や学びの深まりについて、各自が作成する「ポートフォリオ」を中心に評価する。 ②レポート（40%） 本実習を通しての学びについてまとめたレポートで評価する。	〔到達目標〕地域住民と協力して地域課題の解決方策を立案し、それを実践する。 〔成績評価方法〕 ①平常点（60%） 全体授業や地域活動、チーム活動への主体的参加度や学びの深まりについて、各自が作成する「ポートフォリオ」を中心に評価する。 ②レポート（40%） 本実習を通しての学びについてまとめたレポートで評価する。 ※第6セメスター生であっても、エンパワねっと受講が初めての学生は1年目とする。
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	〔到達目標〕地域団体などの活動にメンバーとして参画し、協働できるようになる。 〔成績評価方法〕 ①平常点（60%） 各自が作成する「ポートフォリオ」を中心に評価する。 ②レポート（40%） 本実習を通しての学びについてまとめたレポートで評価する。	〔到達目標〕地域団体などの活動にメンバーとして参画し、その活動成果を地域にフィードバックできるようになる。 〔成績評価方法〕 ①平常点（60%） 各自が作成する「ポートフォリオ」を中心に評価する。 ②レポート（40%） 本実習を通しての学びについて

		まとめたレポートで評価する。
	3年目前期	3年目後期
	第7セメスター	第8セメスター
	2027年度は不開講予定です。	2027年度は不開講予定です。
2026年度の活動スケジュール概要		<p><b>1年目の学生</b></p> <p>4月：オリエンテーション、まちあるき、地域デビュー        5月～7月：チームに分かれて地域活動に参加し、情報収集や関係者へのインタビュー（⇒課題の発見へ）        9月～1月：チームごとに課題の解決に向けた企画の立案、準備、実施を行う（⇒課題の解決へ）        1月中旬：社会共生実習活動報告会（⇒地域との共有）</p> <p><b>2年目の学生</b></p> <p>1年目修了後（1月～3月）：地域参画の交渉、準備        4月～7月：前期の地域参画活動        8月～1月：後期の地域参画活動        1月中旬：社会共生実習活動報告会</p>
系統履修すべき科目の紹介	次頁参照	
主な活動曜講時（時間割を組む際に参考にしてください）	毎週ではなくても、授業のあとの時間帯で、引き続きプロジェクトのチームでミーティングや作業を行えることが望ましい。また、地域の皆さんとの活動は、土日に行うことになる。授業時間以外の活動、土日の活動は授業の評価対象とする。	
担当者からのメッセージ	プロジェクトの仲間や、地域の皆さんと積極的に交流し、知恵を出し合い、汗と一緒に流すことで、自分自身の内に隠れた力を伸ばしていってください。	

## 「地域エンパワねっと・大津中央」の受講に伴う系統履修すべき科目的紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までに下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分	社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください	
基礎科目	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	現場主義入門	2	2	共通	2	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	差別論	3	2	社会	6	
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域社会論	4	2	社会		
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニティ論	2	2	CM		
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多文化共生論	2	2	福祉		
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニティデザイン	4	2	福祉		
発展科目	地域社会の理解	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	都市社会学	4	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	環境社会学	4	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域と語り	1	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地方自治論	4	2	福祉	
	課題解決の原理と方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会問題の社会学	3	2	社会	6
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	集団と組織の社会学	3	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	NPO・NGO論	3	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域再生の社会学	5	2	社会	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会運動論	6	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コモンセンス論	2	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ファシリテーション技法	3	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	まちづくり論	4	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	生活問題論	2	2	福祉	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会貢献論	3	2	福祉	
	分野別課題の理解と活動	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ボランティア論	3	2	福祉	4
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会企業論	4	2	福祉	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	エスニシティ論	4	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	家族社会学	4	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	現代宗教論	5	2	社会	
学科指定科目	学科指定科目	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども社会学	5	2	社会	2
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	寺院活動論	4	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	仏教福祉活動論	5	2	CM	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	家族福祉論	3	2	福祉	
学科指定科目	学科指定科目	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国際福祉論	4	2	福祉	6
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会統計学Ⅰ	2	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会統計学Ⅱ	3	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	質的調査法	3	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	量的調査法	4	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民俗学	5	2	社会	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民社会論	5	2	社会	
学科指定科目	学科指定科目	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光社会学	6	2	社会	2
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	シティズンシップ論	1	2	CM	
実習科目	実習科目	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域スポーツ論	2	2	CM	6
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域と経済	3	2	CM	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域と社会動態	3	2	CM	
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域社会とメディア	3	2	CM	
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	質的調査法	3	2	CM	
		<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	量的調査法	4	2	CM	
学科指定科目	学科指定科目	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域福祉論	4	4	福祉	6
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉調査論	4	2	福祉	
合計								30	

龍谷大学社会学部  
2026年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	<b>農福連携で地域をつなぐ</b> <b>—「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」</b>	
担当者名	坂本清彦 ★連絡先／ a17248@mail.ryukoku.ac.jp	
プロジェクトの概要	<p>滋賀県栗東市で、農業を通じた障がい者が働き生きる場づくりなど「農福連携」事業を進めるNPO 縁活・おもやは拠点に、学生が農業生産・加工・販売、マルシェなど地域イベント、調査活動に参画する。特に障がい者も含めて多様な人々がつながり生き生きと暮らせる共生社会の実現に向けて、農福連携の取り組みとその意義を地域社会や大学関係者に知ってもらうためのさまざまなPR方策を検討し実践する。</p>	
募集学生数	上限 10 名、下限 1 名	
活動場所	<p>NPO 縁活・おもやは、障がい者らとともに農業生産・加工・販売、カフェやコワーキングスペース運営、地域のマルシェへの参加、中山間地域の農地保全、調査研究アドバイザリー事業など、農福連携の全国的推進のためにさまざまな活動を展開している。</p>	
到達目標と成績評価方法  ※実習科目ですので、1セメスターにつき60時間以上の実習（うち40時間は原則として学外）を要します。	1年目前期	1年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	縁活・おもやは農業関連活動や地域イベントへの参画を通じ、現場状況を把握し、関係者から話を聞ける関係を築く。毎回の実習活動ログに記録した学びや取り組み姿勢を評価する。	事業参画に加えて関係者への聞き取り等も交え、農福・地域連携上の課題を抽出し、解決方針案を策定、報告する。活動ログと報告書から実習からの学びと取り組み姿勢を評価する。
	2年目前期	2年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	事業に参画しつつ、農福連携の認知度向上の取り組み企画において主体的な役割を果たせる。 1年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを発	事業に参画しつつ、前期に策定した農福連携の認知度向上の取り組みの実施及び関係者への聞き取り等による効果検証・報告において主体的な役割を果たせ

	<p>揮できる。実施計画と活動ログに記録した学びや取り組み姿勢を評価する。</p>		
	<p>3年目前期</p>		<p>3年目後期</p>
	<p>第7セメスター</p>		<p>第8セメスター</p>
<p>事業に参画しつつ、農福連携の認知度向上の取り組み企画において主体的・指導的な役割を果たせる。1・2年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを発揮できる。実施計画と活動ログに記録した学びや取り組み姿勢を評価する。</p>			<p>事業に参画しつつ、前期に策定した農福連携の認知度向上の取り組みの実施及び関係者への聞き取り等による効果検証・報告において主体的・指導的な役割を果たせる。1・2年目の受講生への支援や受講生全体でのリーダーシップを発揮できる。活動ログと報告書から実習からの学びと取り組み姿勢を評価する。</p>
<p><b>1年目の学生</b></p> <p>前期は縁活おもやの農作業は地域イベントに参画し、担当教員ともに受け入れ先の状況把握や関係者との信頼構築を図ります。実習生の顔を覚えてもらう、話を聞ける関係を築くことをめざします。後期は、おもや及び滋賀県・京都府内の関係者の調査、農福連携事業への参画を通じ、農福連携事業の概要、課題把握と解決に向けた提言策定を図ります。前期後期を通じて、おもやや関連組織の方々への聞き取りや農作業時の参与観察を行い、社会調査のスキルアップを目指します。</p> <p><b>2年目の学生</b></p> <p>1年目の受講生と共に、引き続きおもやにおける活動に参画し、後輩受講生の学修支援をしつつ、前年度までの経験をふまえて農福連携事業における課題解決に向けた活動の提案、実践を行います。</p> <p><b>3年目の学生</b></p> <p>1、2年目の受講生と共に、引き続きおもやにおける活動に参画し、後輩受講生の学修支援をしつつ、前年度までの経験をふまえ</p>			

	て農福連携事業における課題解決に向けた活動の提案、実践を行います。あわせて卒業後の進路において本実習で学んだことを活用することを念頭に、調査・企画・プレゼンテーションなどの内容を担当教員と検討し実施します。
系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に 参考にしてください)	原則として、学期中毎週月・水・金曜日のいずれかの午前（1-2限の時間帯）中に活動するので、活動を希望する曜日は予定を空けてください（授業を登録しないでください）。
担当者からの メッセージ	<p>また滋賀県栗東市の実習受け入れ先からの移動時間を考慮し、活動する曜日の3限も空けておくことを推奨します。これらの時間帯にどうしても履修したい授業等がある場合は、受講生のニーズに応じられる場合があるので、必ず事前に相談してください。</p> <p>また週末、休日や夏季・冬季休暇中にも活動しますので、心づもりしておいてください。その場合は早めに連絡します。</p> <p>農福連携の取り組みは近年国内で急速に広まりましたが、その潜在的なチカラや価値が十分に発揮されているとは言えません。就労機会の少ない障がい者を人手不足の農業労働力にするという農福連携のこれまでのあり方を超えて、多様な人々が「生きる営み」である農業を介して地域社会とつながり、SDGs（持続可能な開発目標）にも沿った誰もがいきいきと暮らせる共生社会につながる農福連携のあり方が求められています。そうした地域社会の実現に向けた課題把握と解決方策提言を、生々しい現場経験、堅固な調査・分析、ファシリテーション的手法を生かしながら進めています。</p> <p>実習では「おもや」の利用者（障がい者）さんやスタッフさんとともに農作業や農産物の出荷調整作業に携わります。農作業のできる服装・身支度をお願いします。</p>

## 「農福連携で地域をつなぐー「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」」の受講に伴う系統履修すべき科目的紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までに下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

龍谷大学社会学部  
2026年度「社会共生実習」概要／募集要項

プロジェクト名	お寺の可能性を引き出そう！ —社会におけるお寺の役割を考える—
担当者名	猪瀬優理 ★連絡先／ inose-y@soc.ryukoku.ac.jp 古莊匡義 ★連絡先／ tfurus@soc.ryukoku.ac.jp
プロジェクトの概要	<p>本実習は、寺院を中心とした地域でのさまざまな社会活動をテーマとする、課題発見・課題探求型の実習です。</p> <p>近年、こども食堂や高齢者向けのサロンなど、地域のつながりや居場所を作るためのさまざまな社会活動がお寺を拠点にして行われています。その中には、お寺や仏教と深いつながりをもたない人が、お寺という場所を使って行う活動もあります。日本の方にコンビニよりもたくさんあるお寺は、仏教の信仰をもたない人にとっても社会活動の拠点となる可能性を秘めています。</p> <p>そこで、前期の実習では実習生にお寺の可能性を体験的、主体的に知ってもらうことを目指します。現場実習では、寺院における実際の社会活動に参加します。授業では、教員と共同で寺院を中心とする社会活動について調べます。そして、実習生の関心に合う活動を発見して、その活動に実際に参加しながら体験的に学べる企画を立ててもらいます。</p> <p>後期の実習では、前期の学びを生かして、現代社会のなかでお寺の可能性をさらに引き出せる活動を企画して、実施してもらいます。内容は受講生の関心によりますが、実習先でのイベント企画や、詳細な社会調査、あるいは探究した内容を共有するワークショップの実施などが活動の一例となります。</p>
募集学生数	上限 20名、下限 2名
活動場所	浄土真宗本願寺派 子ども・若者ご縁づくり推進室 京都・滋賀の寺院等（実習を進めるなかで実習生と具体的に連携先を決めていく）

到達目標と成績評価方法	1年目前期	1年目後期
	第5・7セメスター	第6・8セメスター
	各実習先の活動に主体的に参画し、社会の中でのお寺の可能性を知るための企画の立案に積極的に参加できる。成績は、実習参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。	他の実習生と協働しながら、実習生が行う活動の立案と実施に貢献できる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。
	2年目前期	2年目後期
第5・7セメスター		第6・8セメスター
各実習先の活動に主体的に参画し、実習先とコミュニケーションを取りながら、社会の中でのお寺の可能性を知るための企画の立案を主導できる。成績は、実習参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。		他の実習生や実習先の方々と協働しながら、実習生が行う活動の立案と実施を主導できる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。
3年目前期		3年目後期
第7セメスター		第8セメスター
日本社会の諸問題を念頭に置きつつ、各実習先での活動も踏まえながら、社会の中でのお寺の可能性を知るための企画を立案できる。成績は、実習参加への積極性と、実習の事前事後学習における課題への回答や議論への貢献、実習内容を振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。		実習先と連携を取って、企画を立案し実施することによって、お寺の新たな可能性について提案し、お寺や仏教と深いつながりをもたない人にも伝えることができる。成績は、活動やその準備への貢献と、企画の立案・実施の過程で自らの学びを振り返るために書く実習日誌、期末レポートによって評価する。

	<p><b>1年目の学生</b></p> <p><b>【前期】</b></p> <p>お寺での実際の社会活動に参加する学外実習を3~4回、外部講師による特別講義1~2回を実施します。実習とその事前・事後学習を通して、社会の中でお寺が果たせる役割や可能性について知ることを目指します。お寺での学外実習あるいは外部講師の特別講義、いずれか1回分は学生が主体となり実習先または講師を探して企画します（クラス全体企画）。</p> <p>さらに、各自の関心にしたがってグループに分かれ、お寺の地域での取り組みについてさらに知りたいお寺を探し、お寺の取り組みやその背景にある考え方を深く知るためのフィールドワークをグループごとに企画し、実施します。</p> <p><b>【夏休み】</b></p> <p>前期に実習で訪問したお寺の活動や、講義を聴いた方の活動にさらに参加するなどしながら、後期に実習生で行う活動の企画を考えます。</p> <p><b>2026年度の活動スケジュール概要</b></p> <p><b>【後期の前半】</b></p> <p>前期・夏休みの活動を踏まえて、10月までに実習生で実施する活動を計画します。必要であれば、実習生に探してもらった外部講師と議論をしながら、計画を固めることができます。</p> <p><b>【後期の後半】</b></p> <p>活動を実施する準備を行い、何らかの企画や、調査に基づく提案を行います（外部から講師を呼ぶこともできます）。企画や調査・提案の内容は、受講生の関心に沿って決定し、教員は企画内容に合わせて調査方法やイベント開催のノウハウなどを随時助言します。</p> <p>企画や提案が完了した後に、実習での学びをまとめるために実習報告会で発表を行い、実習報告書を作成します。</p> <p><b>2年目、3年目の学生</b></p> <p>2年目、3年目の学生は、1年目の学生の学修をサポートしながら学びを深めるとともに、自身の1年目の学修で取り組んだ企画やその発想をより幅広いところから捉えなおし、深めていき、その成果を広く伝える活動を継続していきます。</p>
--	--

系統履修すべき 科目の紹介	次頁参照
主な活動曜講時 (時間割を組む際に 参考にしてください)	毎週金曜 2 講時に活動を行う。 フィールドワークは土曜日、日曜日になる場合が多い。
担当者からの メッセージ	仏教を信じている人でなくても、お寺でさまざまな活動をしている方がたくさんいます。フランクでオープンなお寺も増えています。お寺や仏教に関心のない方でも、たとえば地域活性化やこども食堂など、いろいろなことをやってみたいな、そのときお寺が使えそうだなと思ったら、ぜひこの実習に参加してみてください。

「お寺の可能性を引き出そう！一社会におけるお寺の役割を考える一」の受講に伴う系統履修すべき科目の紹介

※「系統履修すべき科目」とは、必修ではなく、履修することでより理解が深まる科目を指します。

※「社会共生実践プログラム認定証」の取得を目指す者は、卒業時までに下表右に明記された指定単位数の修得が必要となります。

【注意】他学科が提供する学部共通講義については、上限16単位までを卒業要件単位として認定します（16単位を超えて履修することは可能ですが、その単位は卒業要件単位に認定されません）。

区分	社会	CM	現福	科目名	セメスター	単位数	提供学科	「社会共生実践プログラム」指定単位数 ※詳しくは履修要項をご参考ください		
基礎科目	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	現場主義入門	2	2	共通	2		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	差別論	3	2	社会			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域社会論	4	2	社会			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニティ論	2	2	CM			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	多文化共生論	2	2	福祉			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	コミュニティデザイン	4	2	福祉			
発展科目	地域社会の理解	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	びわ湖・滋賀学	4	2	社会	4	
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	都市社会学	4	2	社会		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	環境社会学	4	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域と語り	1	2	CM		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地方自治論	4	2	福祉		
	課題解決の原理と方法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会問題の社会学	3	2	社会	6	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	集団と組織の社会学	3	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	N P O ・ N G O 論	3	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域再生の社会学	5	2	社会		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会運動論	6	2	社会		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	コモンセンス論	2	2	CM		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ファシリテーション技法	3	2	CM		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	まちづくり論	4	2	CM		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	生活問題論	2	2	福祉		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会貢献論	3	2	福祉		
学科指定科目	分野別課題の理解と活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ボランティア論	3	2	福祉	4	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会企業論	4	2	福祉		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	エスニシティ論	4	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	家族社会学	4	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	現代宗教論	5	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	子ども社会学	5	2	社会		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	寺院活動論	4	2	CM		
		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	仏教福祉活動論	5	2	CM		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	高齢者福祉論Ⅰ	1	2	福祉		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	児童福祉論Ⅱ	2	2	福祉		
学科指定科目		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	障害者福祉論Ⅱ	2	2	福祉	2	
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	家族福祉論	3	2	福祉		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	国際福祉論	4	2	福祉		
実習科目	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会統計学Ⅰ	2	2	社会			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会統計学Ⅱ	3	2	社会			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	質的調査法	3	2	社会			
	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	量的調査法	4	2	社会			
	学科指定科目		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	民俗学	5	2	社会	6
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市民社会論	5	2	社会	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	観光社会学	6	2	社会	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	シティズンシップ論	1	2	CM	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域スポーツ論	2	2	CM	
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域と経済	3	2	CM	
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域と社会動態	3	2	CM	
	学科指定科目		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域社会とメディア	3	2	CM	2
			<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	質的調査法	3	2	CM	
	学科指定科目		<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	量的調査法	4	2	CM	6
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	地域福祉論	4	4	福祉	
実習科目	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社会福祉調査論	4	2	福祉	6		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅰ A	3	2	共通			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅰ B	4	2	共通			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅱ A	5	2	共通			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅱ B	6	2	共通			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅲ A	7	2	共通			
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	社会共生実習Ⅲ B	8	2	共通			
	合計								30	



## 【2026年度「社会共生実習」個別履修相談会について】

プロジェクト別での履修相談会が下表のとおり開催されます。★印がついている担当教員は、別途、問い合わせに対応くださいます。連絡先は、各プロジェクトの紹介ページにある担当者名欄で確認してください。

プロジェクト名	担当教員	開催日時【会場】
①地域エンパワねっと・大津中央	脇田健一	11/25～12/9、12/16～12/19、1/13～1/16 上記期間中の火曜日と金曜日の昼休み（12：30-13：30） 【聞思館4階プロジェクトワークルーム】
②農福連携で地域をつなぐ —「地域で誰もがいきいきと暮らせる共生社会に向けて」	坂本清彦 ★	1/15（木）2限（11：00～12：30） 【聞思館4階405研究室】 随時、連絡先への問い合わせにも対応します
③お寺の可能性を引き出そう！— 社会におけるお寺の役割を考え る—	猪瀬優理 ★	相談会は開催せず、 随時、連絡先への問い合わせに対応します
	古莊匡義 ★	